



平成28年度 第1回

石狩市市民参加制度調査審議会

平成28年8月19日(金) 18:30
石狩市役所3階 庁議室

会議次第

1. 開 会
2. あいさつ
3. 会長・副会長選出
4. 諮問
5. 協議事項
6. 議 題
 - (1)平成27年度市民参加手続の実施運用状況について
 - (2)市民参加制度の改善方策について
7. その他
8. 閉 会

会長・副会長選出

会 長： _____

副会長： _____

※互選により決定

◆委員名簿◆

役職	新任 継続	氏名	選任区分	肩書
委員	新任	林 一元	学識経験者	元北海道自動車短期大学教授
委員	継続	酒井 一誠	団体推薦	石狩商工会議所青年部
委員	新任	小林 恵子	団体推薦	NPO 法人ひとまちつなぎ石狩
委員	新任	大城 花子	一般公募	
委員	新任	工藤 義昭	一般公募	
委員	新任	田中 裕紀子	一般公募	
委員	新任	田畑 博	一般公募	
委員	継続	松坂 由	一般公募	
委員	継続	森本 栄樹	市職員	総務部行政管理課長
事務局		小鷹 雅晴	企画経済部長	
事務局		本間 孝之	企画経済部 企画課長	
事務局		上窪 健一	企画経済部 企画課 主幹	
事務局		門井 理恵	企画経済部 企画課 主任	

諮 問

石企画第 号

平成28年8月19日

石狩市市民参加制度調査審議会

会 長 様

石狩市長 田 岡 克 介

市民参加制度に関する諮問

石狩市行政活動への市民参加の推進に関する条例第28条の規定に基づき、市民参加手続の実施運用状況の評価及び市民参加制度をより良い内容とするための改善方策について、貴審議会の意見をうかがいます。

1. 第8次審議会の運営ルールについて

【これまでの「石狩市市民参加制度調査審議会」の運営ルール】

①議事録の作成

- 議事録は全文を記録する
- 議事録の内容は、出席委員全員で確認する
- 出席委員の確認終了後、会長の署名により議事録を確定する

②傍聴者の意見提出

- 傍聴者が書面で感想や意見を提出することを認める

2. 第8次審議会の審議内容について

①審議項目

1. 市民参加手続の実施運用状況の評価について
2. 市民参加制度をより良い内容とするための改善方策

②スケジュール

平成 28 年度第 1 回目	平成 28 年 8 月 19 日	・ 27 年度市民参加手続の実施運用状況について ・ 市民参加制度の改善方策について
第 2 回目	平成 28 年 12 月頃	継続審議
平成 29 年度第 1 回目	平成 29 年 7 月頃	・ 28 年度市民参加手続の実施運用状況について ・ 市民参加制度の改善方策について（継続審議）
第 2 回目	平成 29 年 12 月頃	・ 答申案について

1. 平成27年度市民参加手続の実施運用状況について

資料1	平成27年度市民参加手続の実施状況	6
資料2	平成27年度審議会等の開催状況	9
資料3	平成27年度パブリックコメント手続等の実施状況	12

2. 市民参加制度の改善方策について

資料4	(第7次)市民参加手続の実施運用状況の評価及び改善方策に関する答申	14
-----	-----------------------------------	----

【第7次市民参加制度調査審議会からの答申内容】

1. 市民参加制度手続の実施運用状況の評価について

- ・概ね適正に実施されていた。
- ・新たな手法による取り組みとして、第5期石狩市総合計画の策定過程において実施した「プラーヌクスツェレ」の手法を用いた市民討議会は、新たな効果があったと認められる。
- ・今後も広く市民の意見を聴く場の設定を検討すること。

2. 市民参加制度をより良い内容とするための改善方策

(市民参加制度調査審議会のあり方)

- ・本市議会の委員は15人以内と定められているが、過去の答申を受け、9人に減員し、審議を進めた結果、本審議会の役割を果たすことができた。引き続き現在の委員構成と人数を維持していくことが適当。

(市民参加制度の推進について)

- ・市民参加手続を実施する際は、絵や図などを用いた分かりやすい資料の作成に努めるほか、広く周知する方法として、臨時的な説明会や講座、インターネットやSNSなど、様々な情報提供の手法を検討すること。あわせて市民参加制度そのもののさらなる周知に努めること。
- ・審議会には子育て中の方など、様々な立場の市民が加わることができるよう工夫すること。また意見交換会やワークショップなどは、意見を言いやすい雰囲気づくりに努めることや、市民意見が形になった事例を周知するなど、幅広い世代が意見を出しやすい仕組みづくりを期待する。

- ・まちづくりに興味関心を持てるよう、長期的視点での市民参加制度推進の取り組みが必要であり、第5期総合計画を踏まえ、市民目線でのまちづくりが着実に進められることを期待する。

※これまでの審議状況

- 各年度の第1回審議会において、前年度の実施状況を報告。
- 手続の実施運用状況について、総括的に評価。
- 制度の改善点や手続における工夫すべき事項を検討。